
変態の十一先生

※コメディ

赤釘春流

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

変態の十一先生

※コメディー

【Nコード】

N9734J

【作者名】

赤釘春流

【あらすじ】

僕の学校には勇者が居ます。 その勇者は先生です。

勇者だけれど、……変態です。 でも、僕はそんな先生の事をと
ても尊敬しています。 いずれ先生みたいになりたいと思います。

春流の短編小説です。

——とある生徒の、先生に対する感想文。

僕の学校には勇者が居ます、その勇者の話を少し聞いてください。

——その勇者の名前は十一くくのつぎ はじめ>と言います。

三年一組の先生です。

ある日、クラスで騒いでいる子が居ました。 女子でした。

十一先生は、その女子の所まで行って『コラコラ、静かにしなさい』と言いました。 しかし、その女子は静かになりませんでした。 先生は言いました。

「こらこら、静かにしないと、舌を入れてキスをするぞ？」

女子はアツと言う間に静かになりました。 学級委員である僕達がいくら注意しても静かにならなかった女子なのに、スゴイです！ しかし放課後。 校長先生に怒られている十一先生を見ました。 なぜでしょうか？

他にも、十一先生には様々な伝説があります。 とある男子が、女子に向かって『ペチャパイ、ペチャパイ！』とあられも無い酷い言葉を投げかけました。

女子は涙目です。 普段は滅多に怒らない先生が大声を張り上げました。

「ペチャパイの何が悪い！」

生徒が一斉にソチラを振り向きました。 男子生徒は不意を付かれたようで、酷い悪口を言うのを止めました。

十一先生は、女子生徒の所へ言って、静かに言いました。

「大丈夫だ。 先生はペチャパイ。 好きだぞ」

翌日また、校長先生に怒られている十一先生を見ました。 ある日また、男子生徒が悪口を言っていました。 別の女子生徒に対し

てです。 今度の女子生徒は、胸が大きすぎる事が原因で『牛女』
とからかわれているのです。

十一先生は例のごとく、烈火のように怒りました。 そして、女
子生徒の所まで行って言いました。

「大丈夫だよ、私は大きいのもいけるから」

鮮やかに白い歯を見せて笑いました。

……何だか知りませんが、僕はとても感動しました。 しかし、

翌日。 今度は校長だけじゃなくて複数の先生によって怒られてい
る先生が居ました。 先生が先生に怒られるだなんて、おかしい話
だと思います。

でも、僕はそんな十一先生が大好きです。 とても尊敬していま
すし、いづれ僕も『両方いける』と断言出来る大人になりたいと思
いました。

三年一組 原田学

——翌日、学校に大量の抗議の電話がかかってきたのは言うまで
も無い。

(後書き)

こんにちは、春流です。
コメディーには初挑戦です。

宜しくお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9734j/>

変態の十一先生

※コメディー

2010年10月11日17時03分発行